

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月30日

上場会社名 株式会社キムラ 上場取引所 東
 コード番号 7461 URL <http://www.kimuranet.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 勇介
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 川上 啓二 TEL 011-721-4311
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	17,091	14.7	743	△20.1	775	△18.5	400	△8.8
29年3月期第2四半期	14,905	1.1	930	6.6	951	8.2	438	14.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 437百万円 (△27.0%) 29年3月期第2四半期 598百万円 (24.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	27.00	—
29年3月期第2四半期	29.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	24,046	12,067	41.3	668.78
29年3月期	23,597	11,778	41.2	655.94

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 9,919百万円 29年3月期 9,729百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,160	17.1	1,440	16.1	1,470	16.2	630	1.5	42.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	15,180,000株	29年3月期	15,180,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	347,124株	29年3月期	347,124株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	14,832,876株	29年3月期2Q	14,832,876株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や金融政策を背景に、雇用環境、企業収益の改善が見られたことから、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米国の政治動向に対する懸念や東アジアにおける地政学的リスクの高まり等により、先行きが不透明な状況が続いています。さらに個人消費も、所得の伸び悩みや社会保険料の負担増加、物価の上昇により節約志向が根強く、力強さは見られませんでした。

このような状況のもと、当社グループでは、新商品開発への積極的な取り組みと、顧客サービスの強化に努めてまいりました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高170億91百万円（前年同四半期比14.7%増）、営業利益7億43百万円（同20.1%減）、経常利益7億75百万円（同18.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億円（同8.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(卸売事業)

住宅市場は、住宅減税、低金利、相続税対策による新設住宅着工が一巡し、建築コスト高などから減少に転じてきております。4月から8月までの新設持家着工数は全国で123千戸（前年同期比3.0%減）、北海道で5千戸（同0.6%減）と前年を若干下回る水準で推移しております。このような状況のもと、工務店に対する営業支援のための提案型モデル住宅「Skogのいえ」の全国展開とその商品群のブランド化を進め、自然素材の輸入関連商品などの新商品開発と販売強化に努めてまいりました。これらの結果、売上高61億54百万円（前年同四半期比0.5%増）、営業利益5億45百万円（同7.0%増）となりました。

(小売事業)

ホームセンター業界においては、個人の節約志向は根強く、同業他社、他業種との競争の激化が続いております。このような状況のもと、3月に開店した大麻店が売上に大きく貢献した一方で、春先の天候不順による園芸資材・レジャー用品の不振等もあり、既存店につきましては厳しい状況が続いております。また、開店セールの実施により売上高総利益率が大きく低下するとともに、広告宣伝費・警備費等の経費が増加いたしました。これらの結果、売上高103億39百万円（前年同四半期比26.1%増）、営業利益2億86百万円（同43.0%減）となりました。

(不動産事業)

前年第1四半期にありました販売用不動産の販売が当第2四半期連結累計期間はなく、賃貸資産運用により、売上高1億19百万円（前年同四半期比24.0%減）、営業利益91百万円（同47.6%増）となりました。

(足場レンタル事業)

新規取引先の増加と中層物件の増加により、売上高4億78百万円（前年同四半期比12.0%増）となりましたが、資材の入替購入と旭川営業所の拡大に伴う資材購入増により営業利益27百万円（同51.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は240億46百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億48百万円の増加となりました。これは主に、売上債権が8億32百万円増加したものの、流動資産のその他が4億98百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は119億78百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億59百万円の増加となりました。これは主に、借入金が4億円、未払法人税等が1億24百万円それぞれ増加したものの、流動負債のその他が4億円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は120億67百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億88百万円の増加しております。1株当たりの純資産は668円78銭となり、前連結会計年度末に比べて12円84銭増加しております。

なお、自己資本比率は41.3%となっており、前連結会計年度末と比較して0.1ポイント上昇しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結会計期間末に比べ9億9百万円増加して25億41百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果による資金の増加は7億85百万円(前年同四半期は8億24百万円の獲得)となりました。これは主に、売上債権が8億35百万円、未払消費税等が5億40百万円それぞれ増加し、税金等調整前四半期純利益が7億75百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果による資金の減少は9億19百万円(前年同四半期は6億46百万円の使用)となりました。これは主に、子会社の新店舗に係る有形固定資産の取得による支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果による資金の増加は2億41百万円(前年同四半期は54百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出や配当金の支出があったものの短期借入金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成29年4月28日付「平成29年3月期 決算短信」において発表しております平成30年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,441,688	2,552,168
受取手形及び売掛金	2,247,582	3,076,362
電子記録債権	116,646	120,290
商品	3,320,303	3,392,635
販売用不動産	82,029	82,029
その他	680,432	182,402
貸倒引当金	△6,822	△8,912
流動資産合計	8,881,861	9,396,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,630,271	7,465,226
土地	2,992,464	2,979,964
その他(純額)	2,278,558	2,366,977
有形固定資産合計	12,901,295	12,812,168
無形固定資産		
	63,716	120,563
投資その他の資産		
その他	1,768,212	1,736,769
貸倒引当金	△17,760	△20,384
投資その他の資産合計	1,750,451	1,716,384
固定資産合計	14,715,463	14,649,116
資産合計	23,597,325	24,046,093
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,804,046	2,279,348
電子記録債務	—	534,451
短期借入金	820,000	1,577,500
未払法人税等	223,220	347,256
賞与引当金	132,876	168,407
その他	1,261,126	860,508
流動負債合計	5,241,269	5,767,470
固定負債		
長期借入金	5,462,500	5,105,000
役員退職慰労引当金	37,730	37,730
退職給付に係る負債	242,900	242,437
資産除去債務	275,781	278,369
その他	558,321	547,399
固定負債合計	6,577,232	6,210,937
負債合計	11,818,502	11,978,407

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,500	834,500
利益剰余金	7,752,026	8,004,181
自己株式	△132,934	△132,934
株主資本合計	9,246,941	9,499,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	322,797	261,200
土地再評価差額金	159,685	159,685
その他の包括利益累計額合計	482,482	420,885
非支配株主持分	2,049,399	2,147,703
純資産合計	11,778,823	12,067,685
負債純資産合計	23,597,325	24,046,093

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	14,905,628	17,091,768
売上原価	11,249,846	12,938,215
売上総利益	3,655,782	4,153,552
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	1,080,025	1,312,075
賞与引当金繰入額	145,079	168,407
退職給付費用	16,394	17,802
貸倒引当金繰入額	1,474	4,714
その他	1,482,317	1,906,799
販売費及び一般管理費合計	2,725,290	3,409,797
営業利益	930,492	743,755
営業外収益		
受取利息	440	439
仕入割引	43,177	42,370
その他	24,275	42,245
営業外収益合計	67,894	85,055
営業外費用		
支払利息	11,895	16,195
売上割引	34,819	35,030
その他	40	2,005
営業外費用合計	46,755	53,231
経常利益	951,631	775,579
特別利益		
補助金収入	—	12,500
特別利益合計	—	12,500
特別損失		
固定資産除売却損	—	243
固定資産圧縮損	—	12,500
特別損失合計	—	12,743
税金等調整前四半期純利益	951,631	775,336
法人税、住民税及び事業税	380,562	318,204
法人税等調整額	△11,326	△41,759
法人税等合計	369,236	276,445
四半期純利益	582,395	498,891
非支配株主に帰属する四半期純利益	143,419	98,407
親会社株主に帰属する四半期純利益	438,976	400,483

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	582,395	498,891
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,401	△61,700
その他の包括利益合計	16,401	△61,700
四半期包括利益	598,797	437,191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	455,254	338,886
非支配株主に係る四半期包括利益	143,542	98,304

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	951,631	775,336
減価償却費	215,373	341,615
賞与引当金の増減額(△は減少)	22,841	35,531
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,474	4,714
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10,058	△462
受取利息及び受取配当金	△10,064	△9,555
支払利息	11,895	16,195
固定資産除売却損益(△は益)	—	243
固定資産圧縮損	—	12,500
補助金収入	—	△12,500
売上債権の増減額(△は増加)	△837,636	△835,022
たな卸資産の増減額(△は増加)	△196,986	△72,331
仕入債務の増減額(△は減少)	884,891	9,752
未払消費税等の増減額(△は減少)	42,320	540,646
その他	102,428	162,178
小計	1,178,109	968,841
利息及び配当金の受取額	10,064	9,555
利息の支払額	△12,407	△12,135
補助金の受取額	—	12,500
法人税等の支払額	△350,951	△193,399
営業活動によるキャッシュ・フロー	824,814	785,362
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△165	△3,209
有形固定資産の取得による支出	△628,597	△836,685
無形固定資産の取得による支出	△17,416	△68,702
投資有価証券の取得による支出	△2,158	△2,230
貸付けによる支出	—	△10,887
貸付金の回収による収入	2,114	2,601
投資活動によるキャッシュ・フロー	△646,222	△919,114
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	250,000	750,000
長期借入金の返済による支出	△145,000	△350,000
配当金の支払額	△148,130	△148,043
リース債務の返済による支出	△11,258	△10,934
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54,388	241,021
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	124,202	107,269
現金及び現金同等物の期首残高	1,507,733	2,434,142
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,631,936	2,541,412

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	卸売事業	小売事業	不動産事業	足場レンタル 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	6,124,602	8,196,981	156,621	427,423	14,905,628
セグメント間の内部売上高 又は振替高	273,691	3,541	13,608	—	290,841
計	6,398,294	8,200,523	170,229	427,423	15,196,469
セグメント利益	509,537	502,976	62,256	56,230	1,131,000

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,131,000
セグメント間取引消去	△4,473
全社費用(注)	△196,034
四半期連結損益計算書の営業利益	930,492

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	卸売事業	小売事業	不動産事業	足場レンタル 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	6,154,956	10,339,072	119,007	478,732	17,091,768
セグメント間の内部売上高 又は振替高	316,106	4,062	27,408	332	347,908
計	6,471,062	10,343,134	146,415	479,064	17,439,677
セグメント利益	545,098	286,753	91,866	27,246	950,966

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	950,966
セグメント間取引消去	5,033
全社費用(注)	△212,244
四半期連結損益計算書の営業利益	743,755

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。